

自由に参加できます！

第44回明大昆虫セミナー

野菜の微小害虫管理をめぐる 生産地での天敵利用の現状と展望

柿元 一樹 氏

(鹿児島県農業開発総合センター)

日時：2017年8月4日（金）17:10～18:40頃

会場：明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0306 教室

アザミウマ類やコナジラミ類などの海外から侵入した害虫（侵入害虫）は、長年にわたって施設野菜の大害虫として生産地に大きな経済的損失をもたらしてきました。しかし、これらの害虫の防除対策については最近の10年ほどで大きく変化し、天敵を利用した生物的防除がごく一般的な技術として導入されるようになりました。一方、生物的防除を実践するとアブラムシ類の問題が顕在化する場合も多いのですが、演者らのグループは新たな『バンカー法』を開発することで対応しています。今回の講演では、まずは鹿児島県において施設野菜の生物的防除が実用化に至るまで、生産地が歩んできた歴史を振り返り、今後の展望について考察して頂きます。次に、露地野菜における微小害虫の防除対策について、アブラムシ類に対する生物的防除を中心に研究の現状と今後の展望を紹介して頂きます。生産現場における研究の実際を知る貴重な機会ですので、奮ってご参加下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享